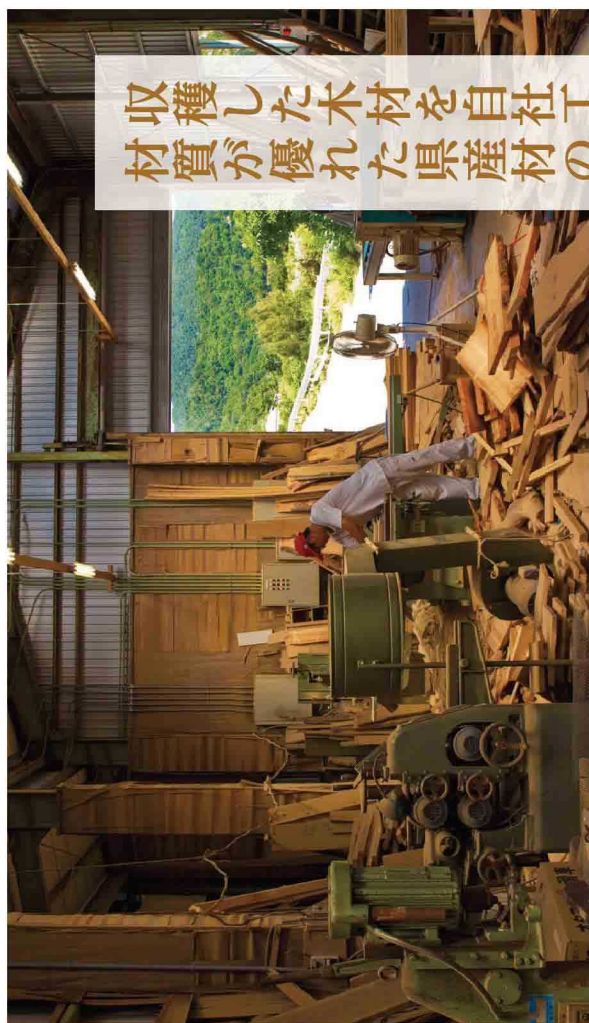


収穫した木材を自社工場加工 材質が優れた県産材の魅力を発信



県内の森林組合の中では唯一、目前の加工施設を備える。

加工工程は、まずチップにするか製材にするかで大きく分かれる。チップには低質木が用いられ、専用の機械で粉砕してオガコを製造。その中でも粒子の粗いものは高産敷料に、細かいものはキノコなどの菌床栽培に主に使われる。

一方で製材する木材は、天然乾燥させてから加工して、機械乾燥で含水率を8〜10%に抑えた後、屋内で1カ月静置してから出荷する。製材の用途は、かつては土木資材が中心だったが、現在は家具材、化粧材などにシフトチェンジ。2017年にスタートした銘木にも注目が集まる。

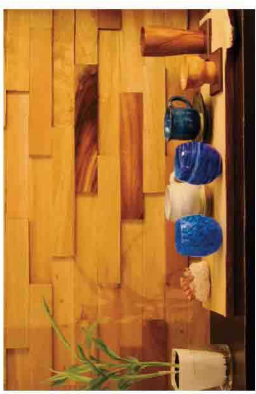
「産材は出回りが多くて建築の構造物には向きでも、特にリユウキエウマツなどは木目の美しさに定評がある。材質の優れた木材を、相応の価値で販売するチャンネルを広げ、県産材の魅力を発信していきたい。」

組合職員の比嘉連さんの目は、常に時代の一歩先を見据えている。



国頭村森林組合
住/国頭村字与那1258
☎ 0980-41-5421

沖縄特有の樹種を活かした商材で 新たな市場へ向けた業務拡大を図る



創業7年目になるキンモクは現在5名のスタッフが製材業務に従事している。北部の森林業者より購入した木材を品質によって建築資材と土木資材に選別、用途に合わせた大きさや形に加工して販売を行っている。性質により異なるが木材の自然乾燥は平均3〜5年。リユウキエウマツなどは乾燥機に10日間かければ、2〜3ヶ月の自然乾燥で製材できる。今年4月には新しい倉庫を工場の近くに増設し、大量の木材の保管や乾燥などに大きく貢献している。

沖縄に広く分布する広葉樹は構造が複雑なところに魅力があるという。「入り組んだ木目などバラエティに富んだ品質こそが素晴らしい」と代表取締役の金城さんは熱く語る。そこに着手して商品化した「木製タイル」はイタジイやクスノキ、センタンといった複数の木材をミックスさせた建築資材で、沖縄特有の樹種の多様性を感じることが出来る。近年では公共事業の減少に伴い、個人工房などにも視野を広げた販売を展開。さらに、観光市場にも目を向けた新たな商材を立案中だ。



企業組合キンモク
住/金部町金部10392-4
☎ 098-966-6767

店舗内装、
インテリア製作
手掛けしました



Jungle Studioが最初に内装を手掛けた居酒屋。ごろんまじりとした雰囲気ながら県産木材の温もりにも驚かされる空間だ。テーブルの天板にリュウキエウマツやカスノキ、センダングサ、カウソウの椅子と壁にリュウキエウマツ、天板にイジエが施されている。



JIROCHO 酒一家
住/那覇市板志2-4-7
☎ 098-880-0400
密/17:00~25:00



1. 「キョウチンベンパースタンド」
リュウキエウマツ/アガキ/カスノキ
2. 「鎌倉版」
リュウキエウマツ
3. 「コーヒーードリップアライオンスタンド」
リュウキエウマツ
4. 「アイロンスツール」
リュウキエウマツ
5. 「モザイクボックス」
リュウキエウマツ/アガキ/カスノキ/センダングサ
6. 「アイロンスツール」
リュウキエウマツ



左からJungle Studioの相澤さんとINO NAME IRON WORKSの眞藤さん

木材と鉄をコラボさせた 量産型の商品を沖縄から発信

リュウキエウマツ、アガキ、センダングサなど沖縄産の木々と鉄を融合させたおよそ86種類の家具や雑貨を取り扱う量産型の製造メーカー。鉄は鉄家具のオーダーメイドを手掛ける「INO NAME IRON WORKS」と共同で製作をしている。沖縄の木のしなやかさと鉄の力強さが調和した作品は年に2回東京で開催されるギフトショーの出展をきっかけにバイヤーの目に留まり、全国的に広く知れ渡るようになった。今では月に1000個、多い時には4000個を超す注文数が殺到する。使い手の気持ちに寄り添った作品作りの思いが、その結果のあらわれであらう。今後は新しい木材や鉄以外とのマッチングも構想中だ。

県産木製品が一堂に集う！ 沖縄ウッドフェア

沖縄県産木を生かした製品や工芸品が一堂に集う「沖縄ウッドフェア」。県内の多様な木材の木工芸製品の普及と豊かで安らぎのある生活環境づくりに貢献することを目的に、毎年開催されている。今年で22回目を数え、回を重ねるごとに人気が高まり今では沖縄最大級の木工作品、展示販売イベントとしてすっかり定着している。60工房余りの木工製品の展示販売や木工体験教室、ワークショップをはじめ、チャリティーオークションなど小さなお子様からお年寄りまで楽しめるイベントなので気軽に足を運んでみよう。

開催日時/平成29年11月3日(金)~5日(日)
10:00~19:00 ※最終日は18:00まで
会場/沖縄選手会館(那覇市豊原854-1)



沖縄の木を 生かす職人たちが 独自の技術や発想で、 沖縄の木と真剣に向かい合う 木工作家&工芸士



1. 「キョウチンベンパースタンド」
リュウキエウマツ/アガキ/カスノキ
2. 「鎌倉版」
リュウキエウマツ
3. 「コーヒーードリップアライオンスタンド」
リュウキエウマツ
4. 「アイロンスツール」
リュウキエウマツ
5. 「モザイクボックス」
リュウキエウマツ/アガキ/カスノキ/センダングサ
6. 「アイロンスツール」
リュウキエウマツ



1. 島家木「アガキの椅子」
2. 島家木「ロウキエウマツ」
3. 島家木「くまの椅子」
アガキ/リュウキエウマツ
4. かねせん工房「HADDOスピーカー」
カスノキ
5. かねせん工房「万葉」
カスノキ
6. かねせん工房「平面」
カスノキ
7. かねせん工房「一輪挿し」
リュウキエウマツ
8. 香りと墨研究所「漆黒・天然木のアロマシート」
9. 香りと墨研究所「漆黒・深呼吸のためのさわやかミスト」
10. 香りと墨研究所「漆黒・リュウキエウマツフレンド」
11. 香りと墨研究所「オジナトルフレンドセット」



香りと墨研究所
園田 優子 さん

リュウキエウマツの未利用材(枝葉)から抽出した精油を元に、柑橘類やハーブなど他の植物の香りとブレンドした商品の開発や販売を行っている。企業のオフィス内にアロマ製品を導入、木の香りなどによる空間環境の改善と業務の効率支援などをサポート。

住/北中城村理慶597 No.24
☎ 098-932-3839
https://www.scent-place.jp



かねせん工房
千木良 芳弘 さん

クスノキやセンダングサ、リュウキエウマツなどの樹種を中心に器やポールペン、スピーカーなどロクロを使った木工技術「挽き物」専門の工芸士。挽き物の技術で制作されたスピーカー(HIADO)が有名。経済産業大臣認定、琉球漆器木地部門の伝統工芸士。

住/沖縄市管理2-19-7
☎ 098-989-7040



島家木
屋宜 政廣 さん

沖縄の木工作家としてバイオニオ的な存在。全体的に丸みのある形状が特徴で、主にアガキを使用した流線家具は深い温かみと安堵感を与えられる。スベスベとした気持ちの良い感触や堅った時の心地よさは、自然と穏やかな雰囲気にも包み込まれる。

住/沖縄市知花25-24-8
☎ 098-989-3103



Banana Furniture Store
Banana
神田 健次郎さん

家具はあくまでも副的な存在というスタイルをモットーに際立った4年生ではなく空間に溶け込むような家具作りを心がけている。



モクモク
ツクモク
豊田 修さん

毎日の暮らしが心地よくて楽しい気分になるような家具作りを目指している。個性的なデザインやカラーで飾られた作品が多い。



モクモク
盛根 理恵さん

近江島で伝統球技を傳った、おちおちの島物を中心に制作をしている。手に取る人の思いが刻まれるような作品作りを心がける。



1. Bananas Furniture Store 「木花(もくばな)」
2. チツモク 「The moon clock」
3. WOODYはる房 「楠木組込み時計」
4. 木工房 もり〜む 「うるつくる」
5. 木工房 花めKAN 「魚釣り」
6. 木工房 木匠精 「産卓」
7. WOODWORKS はる 「ダイニングテーブル」
8. 木工房 木匠精 「産卓」

1. 木工房 花めKAN 「魚釣り」
2. 木工房 木匠精 「産卓」
3. WOODWORKS はる 「ダイニングテーブル」
4. 木工房 木匠精 「産卓」
5. 木工房 木匠精 「産卓」
6. 木工房 木匠精 「産卓」
7. WOODWORKS はる 「ダイニングテーブル」
8. 木工房 木匠精 「産卓」



木工房 楽樹のかけら
古我知 毅さん

木の工房 楽樹の代表。建築やオーダーメイド家具を中心に手掛けている。木質にも積極的な取り組みを行っている情熱溢れる作家だ。



木工房 ひかり
岩田 望美さん

リノキウマツのランプや木のおもちゃなどの作品に定評がある。お馴染みで愛々の真を愛慕。アイデア満載の女性木工作家。



1. 工房 地球のかけら 「除音機」
2. 工房 地球のかけら 「く積み木」
3. 工房 地球のかけら 「サイドテーブル」
4. 工房 地球のかけら 「椅子」
5. 木工房 ひかり 「シーサー」
6. 木工房 ひかり 「置物」

1. 工房 地球のかけら 「除音機」
2. 工房 地球のかけら 「く積み木」
3. 工房 地球のかけら 「サイドテーブル」
4. 工房 地球のかけら 「椅子」
5. 木工房 ひかり 「シーサー」
6. 木工房 ひかり 「置物」



WOODWORKS
宮野 信夫さん

気持ちのおもむくままに作る作風が特徴。じっくりと時間をかけたりと、緻密な作品が多い。



WOODWORKS
外間 剛道さん

オーダーメイドの家具を中心とし、木製品を多く手掛けています。世界にひとつしかない「あなただけの物」に思いを込めて。



WOODWORKS
木匠 朝治さん

「家具に託したメッセージ、色や形に押し込め、あなただけの心に響くように作る。手作業で作る作品に個性が溢れる。」



WOODWORKS
屋長 朝治さん

「家具に託したメッセージ、色や形に押し込め、あなただけの心に響くように作る。手作業で作る作品に個性が溢れる。」



WOODWORKS
木匠 朝治さん

「家具に託したメッセージ、色や形に押し込め、あなただけの心に響くように作る。手作業で作る作品に個性が溢れる。」

県内7つの工房が運営する
木工家具と木工クラフトの店

那覇から68号線を伊佐交差点向け、大山小学校手前にある木工ショップ。沖縄県内で活動をしている7つの工房によって運営されている。店内に足を踏み入れると木の香りで胸がいつぱいになり、なんとも言えない安堵感に包まれる。テーブルや椅子、小物、雑貨といった数多くの木工作品が展示、販売されている。7つの工房の作品が一堂に集まるだけに、個性豊かな作品は見ているだけでも心が弾む。店番は各作家が持ち回りで担当。足しげく通いながら気になる作家との会話も楽しいだろう。



住/重野町水145-17-5
☎ 098-891-5755
営/11:00~19:00
休/水曜日

木育活動としての役割も担う
4作家が営む工房&ギャラリー

4人の作家が看板を掲げて運営を行っている工房&ギャラリー。工房の庭先にはツリーハウスや木材を組み合わせた遊具が設置されていて、近所の子ども達の遊び場として親しまれている。毎年GW期間中には森の乗車を企画、廃材を使った工作や日替わりのワークショップなどを開催。遠方からも多くの家族連れが訪れる人気のイベントで、木育活動の拠点としての役割にもなっている。工房内のギャラリーでは4人の作家の作品を展示、販売している。今回は2人の作家を取り上げて紹介する。



住/八重瀬町世名城1569-2
☎ 098-998-0078
営/10:00~17:00
休/水・木曜日

暮らしに木を 取り込む 国頭村

国頭村ならではの4つの取り組み。

やんばるの自然から恩恵を受ける

道の駅ゆいゆい国頭内にあるレストラン。豊富な定食メニューが自慢で、中でも人気のイノブタ肉そばやイノブタ丼に木の器が使用されている。クスノキやセンダング、エゴノキ、リュウキュウマツなどで作られた器でいただく料理は格別な味わいが楽しめる。お客さんからも手に持った感覚が評判で、中には譲って欲しいという声もよく聞かれるそうだ。

住/国頭村字奥間1605
☎ 0980-41-5555
※/11:00~16:00
休/年末年始
<http://www.yuyui-ki.jp/>

温もり溢れる木の器でいただく
食感と触感で、Wの美味しさ！



木目が美しいリュウキュウマツの
どんぶりに入ったイノブタ肉そば
800円(入費No.1メニュー)

03 KUNIGAMIZ

レストランくいな



手前中央の嶋松先生。世界遺産登録に向けて「産物」を守りながら生活するが、考えまわればならぬといふ話。

多くの樹種が生育する国頭村では、貴重な森林資源の付加価値を高めて活用する取り組みとして、村内に移住しながら木工職人を旨とする人材育成を中心とした新たな地域産業としての振興を図っている。講師に大分県湯布院町にデザイン研究所を構える木工芸デザイナーの時松匠夫先生を招き熱のこもった指導の下、現在3名の木工職人の卵たちが技術の向上に努めている。

01 KUNIGAMIZ

やんばるクラフト

森林資源を活用した木工職人の育成と地域産業の振興を図る

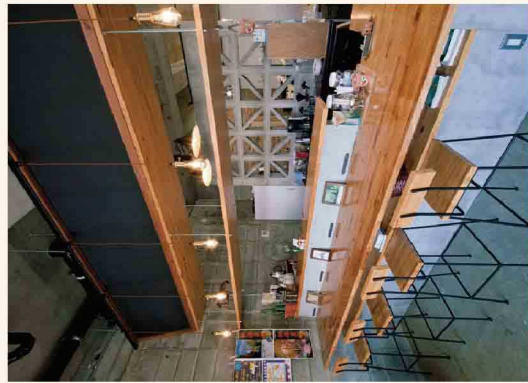
04 KUNIGAMIZ

ヘントナラウンジ
HENTONA LOUNGE

木の温もりを肌で感じながら
ゆったりと寛げる多目的空間

カウンターやソファ、ワークデスクなどにリュウキュウマツが取り入れられた、カフェ利用もできるコワーキングスペース。本来の沖繩が残るこの場所に魅力を感じてオープンさせたオーナーの久保さんの思いが、いっばいにつまった多目的スペースだ。2・3階には国頭村への移住を検討する人が、トライアルで使用できる宿泊施設が併設されている。

住/国頭村字辻土名119-6
☎ 090-3413-1196
※/平日 9:30~19:00
土・日曜日、祭日 10:30~19:00
※コワーキングスペースは最終チェックイン18:00、最長20:00までご利用可能
休/年末年始
<http://hentona-lounge.yumbaru.jp/>



店内の一角では、「やんばるクラフト」や「あしが三鏡」など、後述で登場する作家達の作品を展示、販売されている。



02 KUNIGAMIZ

やんばる森のおもちゃ美術館

木育を広める体験型の施設で
木の温もりに触れながら遊ぶ



三角屋根の樹上ハウスやハンガロー、キャンプ場などが整備された国頭村森林公園内にある施設。館内の壁には沖繩の木工職人が製作したおもちゃが数多く並んでいる。中でも約5000個の木の卵が入ったプールは子どもたちに大人気。利用客の90%以上が村外で占めており、南部方面から訪れる家族連れなどで週末は賑わっている。

住/国頭村字辻土名1094-1
☎ 0980-50-1022
※/10:00~16:00(入館は15:30まで)
料/子ども200円(3歳~小学生まで)・大人400円(中学生以上)
団体割引10名以上につき100円引き
休/少曜日
<http://www.kunigami-forest-park.org/>



国頭村の木育を普及する中心施設。沖繩県産木材で製作された、個性的な木のおもちゃがたくさん！



自生する木。加工される木。どの「木」も形は変われど共存する姿は変わらず私たちが共に生き続ける

三原聖ハテロ聖パウロ教会

木材に覆われた美しい祭壇と自然の香りに包み込まれた教会

老朽化に伴い建て替える際に、以前この場所に立っていたセンダンを十字架に再利用。その背景にも、木の工務業の古我知毅さんと沖繩ステンドグラスの金城若菜さんがコラボした美しいセンダンの壁を見ることができている。祭壇の左右に配置された講壇にはリユウキョウマツツが使用されている。

(設計は建築アトリエ Treppen トレンペンの照屋寛吉氏)

住/那覇市三原2-23-1
☎098-832-3242



教会の壁には1917の数字が刻印されており、100年前に製造された古い壁であることが判明し話題にもなっている。

沖縄県民の森

広大な自然林の中で学習やレジャー体験が楽しめる施設

沖縄県民が森林レクリエーションや体験学習を通して、森の仕組みと役割について理解を深めていくことを目的に開設された。広大な敷地内には遊歩道を利用した山登りやキャンプ場、パークゴルフ場、森林学習展示館などの施設が用意されている。園内には250種以上ともいわれるイタジイを主とした植物や季節に合わせて開花する木なども多く見ることができている。

住/豊後村安産路2028
☎098-967-8092
<http://kemimomori.okinawa>



森林学習展示館では沖縄の木の種類の展示や積み木コーナー、森の生き物を解説した掲示版などが設置されている。

「木育」は誰にでもできる取り組み

私たちの生活には、家や家具、道具、紙などから生まれるものが、たくさん使われています。しかし、その材料となっている木や紙のことは想像もする人は少ないのだらう。「木育」は平成16年、産業界と消費者による「木育推進プロジェクトチーム」において検討された言葉。平成18年度9月に閣議決定された「森林・林業基本計画」においては「国民が愛着の木材に対する親しみや木の文化への理解を深めるため、多様な関係者が連携し、協力しながら、材料としての木材の良さをその利用の意義を学ぶ「木育」とも言うべき木材利用に関する教育活動を促進することとしている。東京おもちゃ美術館が運営する認定NPO法人「芸術と遊び創造協会」がシニアに定めた「木育」の目標と目的を紹介しよう。

- (2) 歴史を守る「木育」
- (3) 木の文化を伝える「木育」
- (4) 暮らしに木を取り入れる「木育」
- (5) 環境を環境教育する「木育」
- (6) 子どもの心を豊かにする「木育」

(2) 「木育」は単に木が好みにあわなくて、暮らしの中に取り入れればよいというものではなく、その木が森林環境を守りながら伐採も加工されていることまで思いを馳せることが大切。

(3) 日本は世界最古の大規模建築物である法隆寺に代表されるように、世界屈指の木の加工技術を誇る国でもあり、木で何かを作ることを通して、木と向き合ふ木の文化を伝

えきた。(2) 一方で、暮らしの中からどんどん木がなくなりつつあることも事実。もともと木のもつ持つ良さや五感を呼び、暮らしに木を取り入れていくことこそ、世界の優れた森林大国日本の中で木の自信を見せたいことが求められる。

(3) 日本の林業や木材工業は高度経済成長期を経て一途をたどった。私たちが住んでいる国の木をどう使うことか、森林産業を活性化させることができるはずだ。

(4) 今、再び暮らしに木を取り入れるべく、日本各地では、子どもが育つ身近な環境に木のおもちゃや木を取り入れ、五感に働きかけるの森遊を促し、子どもの心を豊かにする取り組みが始まっている。

園圃では、0歳半前から、木材の需要を取り戻すことも目的に村内外、学校、幼稚園、小学校、児童館などに切り替えた。乳幼児は小学校入学時に遊んで組み立て、6年間使用し卒業時にその持ち主選にプレゼントする活動を継続している。他にも下記コラムに掲載されている主催者の「山の日まつり」や「木育出張講座」をはじめ、国営森林組合主催のGWイベント「森林公園木育フェア」、木工が自主的に促進するイベントなどが実施されている。

「木育」は誰でも、いつでも、どこでも、できる取り組み。森や木と向きあう時、少しだけ五感を開放させてみよう。木を使う事と環境を守る事がつながっている事に少し気づけたい。

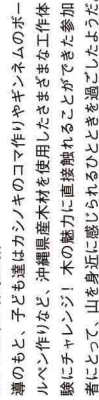
(出典:参考資料) 木育宣言 <https://mekukubko.info/> / 林野庁「木育の推進について」(本邦の利用促進に向けた取組) <http://www.sjnpa.maff.go.jp/> / 農林水産省「木の育ちと暮らし」(本邦の木と暮らし) <http://www.mof.go.jp/> / 北海道新聞

沖縄県産リユウキョウマツツを使った木のしおり

工作体験で山に親しんだ「山の日まつり」の山の日イベント



8月11日の山の日に関連し、恩納村の県民の森で11日と12日の「山の日まつり」が開催された。12日に行われた木工クラフト体験はプロの木工作家の指導のもと、子ども達はカンキのコマ作りやギンネムのポールペン作りなど、沖縄県産木材を使用したさまざまな工作体験にチャレンジ！木の魅力に直接触れることができた参加者にとって、山を身近に感じられるひとときを過ごしたようだった。



店名: 木の紙 やしほの森 ヤフパルクイフ
業名: 沖縄県産木材 (紙・紙類)、上野紙 (産地産材)
用途: 製紙、しおり、メモ、など

△使用上の注意

- ・天然木を使用したため、下記の商品にご注意ください。
- ・商品がお客様の手に届くまで保管していただきます。雨など湿気しないようにご注意ください。
- ・同じ大目物の商品同士を組み合わせることはできません。
- ・色柄の鮮やかさが変わることがあります。(日射や摩擦によって色柄が濃く変化します。)
- ・水濡れにはご注意ください。口の中には絶対に入れないでください。裏面の記載が必ずあります。
- ・価格や分量などお問い合わせが頻りにありますので、3歳未満のお子様には絶対に与えないでください。保護者のもとで使用してください。紙の角や端でケガをしないようご注意ください。

お問い合わせ先 株式会社クレコ・ラボ
〒105-0014 東京都港区芝2-5-10-102 TEL 03-6463-6916 (平日10時～17時)